

平成25年度 教育課程活動にかかわる現状と課題

部長 松崎 一昭

1 教育課程活動の動向

【上越地区】

糸魚川市立木浦小学校では、県小学校教育研究会学習指導改善調査研究事業の協力校として学習指導改善に取り組む。「学ぶ意欲をもち、自分の考えを伝え合う子どもの育成」を校内研究主題に8月20日に市内で実践発表会を行う。上越市内各校では、市教育委員会が導入した上越カリキュラムの活用を図り、特色ある教育課程を編成していくための資料提供やモデルとなる学校の実践に学ぶ研修会（年3回実施）を開催。

【中越地区】

柏崎市刈羽郡教育課程部会では、12月25日に東日本大震災当時、岩手県釜石市立釜石小学校 加藤礼子校長（現岩手郡滝沢村立滝沢小学校校長）を招き、震災前後の防災教育の取組や、震災発生から今日に至るまでの軌跡と復興教育について、教育講話研修会を実施。田上町では、平成22年度より幼・小・中の12年間を見通した「田上町の12か年教育」を実施し、「各校種間の接続」「学びの連続性」をキーワードに取り組んでいる。

【下越地区】

胎内市教育課程部会では、8月8日に「Web配信集計システム」の一層の有効活用に焦点を当て、下越教育事務所 高橋哲衛指導主事を招聘し、県の学力実態、授業改善の進め方、過去の問題や解説・サポート問題等に係わる研修会を開催。五泉市教育課程部会では、平成26年度に市で開催予定の「新潟県同和教育研究集会」に向け、今年度各校で「人権教育、同和教育」を柱に推進。年3回情報交換を行い、新年度に向け着実な実践と確かな成果を積み上げてきている。

2 教育課程活動の課題

教育課程の編成実施に向け、配意しなければならないことは、子どもたち一人一人のもつ教育的な諸経験、諸活動等の十分加味されなければならないことである。教育課程が単に機械的な計画になることなく、各校が子どもたちの実態に即し、学習効果を高めていくための教育課程編成に向けた取り組みを大切にしたいものである。

